令和７年度　　生徒指導全体計画

学校教育目標

自ら学び　共に高まる　児童の育成

関係諸機関との連携

・廿日市市教育委員会

・廿日市警察署

・大野東中学校

・大野地区民生委員児童委員

・廿日市適応指導教室

・コミュニティースクール

家庭との連携

家庭・保護者との連携協力を深め，よりよく生きようとする子どもを援助する。

地域との連携

地域の教育力を学校の中に生かし，一体となって子どもを育成する。

生徒指導の基本方針

〇自らの行動を判断し，実行し，責任をもつという自己指導力の育成をめざすよう生徒指導の機能を生かした指導・援助をする。
〇学校や地域の中で，人々が共に生きていくために必要な基本的な生活習慣が身に付くよう努める。
〇いじめや不登校などの教育課題の要因や背景を明らかにしながら，解決のために保護者・地域・学校が一体になった取組を進めるとともに，関係諸機関との連携を深める。
〇自主性・創造性・実践力を養う場として望ましい集団と個の関わりを育てる特別活動を重視する。特に学級活動や児童会の活動を一層充実する。
〇問題行動や非常事態に対応できる危機管理体制を確立すると共に，児童の安全･防犯に対する危機回避能力を高める。
〇小中連携を通して９年間を見通した生徒指導体制を確立する。

児童の実態

・地域の実態

・保護者の願い

・社会の実態

一人一人の児童はとても素直でやる気もあり，発想力もある。学習への意欲は高く，課題解決学習を好む。評価活動や異学年交流による関係作りがコロナ禍の中において減少したが，自己有用感は低くなかった。
また自分の考えを適切に相手に表現することも身に付いてきた。反面，自主的に活動を創造・工夫することは苦手で，集団に馴染めない児童や友達との関係を作りにくい，精神面で弱い児童が少なくない。

育てたい児童

きまりをきちんと守り，習慣化できる児童

身だしなみを整えることができる児童

自分の役割を理解しながらそうじをする児童

誰にでも進んで大きな声であいさつができる児童

時間を守って行動できる児童

自己指導能力の育成

生徒指導の三機能を生かした教育活動の充実
〇自己決定の場を与える
〇自己存在感を与える
〇共感的人間関係を構築する（児童相互，児童と教師）

特別活動

〇　学級活動
・学級，学校生活の充実向上を図り，健全な生活態度の育成に資する。
・集団の中で個を生かす行動の仕方を身につける。
・あらゆる場面で，工夫をして評価をする場を設ける。
〇　児童会活動，委員会活動，クラブ活動
・学校生活の充実と自己肯定感の向上のために集い，諸問題を話し合い，協力してその解決を図る。
〇　学校行事
・学校または学年を単位として学校生活に秩序と変化を与え，集団への所属感を高め，つながりを深める。

各教科

・　生徒指導の三機能を生かした分かる授業を創造し，各教科で培われた力をもとに自主性，創造力，実践力のある日常生活をおくることができるようにする。

特別の教科　道徳

・きまりや約束事を守る道徳的実践力を身につける。
・深く考え，正しく判断できる力をつける。
・人間として，お互いの生命を大切にする思いやりの心を育てる。

総合的な学習の時間

・よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
・学び方やものの考え方を身につけ，自己の生き方を考えることができる。